

母子保健事業による妊娠期からの関わりと子育て期の虐待リスクの関連要因の探索的研究

はじめに

わが国では、子育て期の支援が最重要課題の一つになっています。この取り組みでは、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援と虐待予防に役立てることを目的として市が保有する母子保健の記録を、個人が特定されない形に加工して分析します。

1. 研究の対象

長岡京市において、2015年4月～2023年3月の間に妊娠届出を行い、対象期間中に出産した母子。

2. 研究目的・方法

妊娠期からの支援と、出産後の子育て期におけるマルチトメント、虐待との関連を調べ、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援と虐待予防に役立てることを目的に行います。母子保健事業等で既に記録されている情報を用いるもので、新たな受診や質問への回答等をお願いすることはありません。

研究期間:研究機関の長の実施許可日～2030年3月31日

利用又は提供を開始する予定日:2026年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

妊娠届出時調査票(妊娠時の親の年齢、妊娠歴、妊娠に対する受け止め等)、妊娠期の支援記録(保健師等による相談等の回数)、出産前教室参加状況(出産前準備教室、ベビープログラム等の参加の有無)、新生児訪問記録(新生児の状況、育児の状況、産後うつ病のアンケート等)、乳幼児健診結果(子の発育状況、育てにくさ等)、健診時アンケート(子どもの発達状況、親の子どもへの対応等)、要保護児童としての登録の有無等(要保護に関する状況の該当、開始・終了時点)。

4. 外部への試料・情報の提供

氏名、住所等の直接個人を識別できる情報を削除し、個人情報保護するための加工を行ったうえで研究代表機関に提供されます。提供先は本研究の研究組織に限り、第三者への提供は行いません。

5. 研究組織(利用する者の範囲)

研究代表機関:大阪大学大学院人間科学研究科 藤野陽生

共同研究機関:大阪大学大学院医学系研究科小児科学 西村倫子

その他:長岡京市 地域福祉連携室

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて対象の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも申し出た方に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

【市の窓口】長岡京市開田 1-1-1、電話:075-955-9516、担当:健康福祉部地域福祉連携室

【研究代表機関】吹田市山田丘 1-2、電話:06-6879-8102、担当:大阪大学大学院人間科学研究科・藤野陽生

研究代表者:

大阪大学大学院人間科学研究科・連合小児発達学研究科・医学系研究科保健学専攻 藤野陽生